

明治日本の産業革命を支えた世界文化遺産

軍艦島をはかる

2018. 3.24 土
13:30 ~ 16:30

第3回テーマ：日給社宅(16~20号棟連結建物)をはかる

岩山の斜面から這い出すように海側の大防潮廊下で連結した日給社宅。

人々の暮らしが交差した活気ある高密度立体迷路空間を
創出した日給社宅をネットワーク計測し、日給社宅が
語りかけてくるメッセージを聞き取り、その魅力に迫る。

つねに軍艦島建築群の心臓部であり続けた日給社宅の
歴史と島の生活を元島民の視点で振り返り
海の厳しい環境から軍艦島建築群を
守り続けた護岸建設と維持管理、
さらに無人島となっても注目され
続ける最近の状況を語る。

【講演内容】①日給社宅(16~20号棟)のいまをはかる

②日給社宅(16~20号棟)の思い出と想い

③軍艦島をはかり続ける意味

④質疑応答

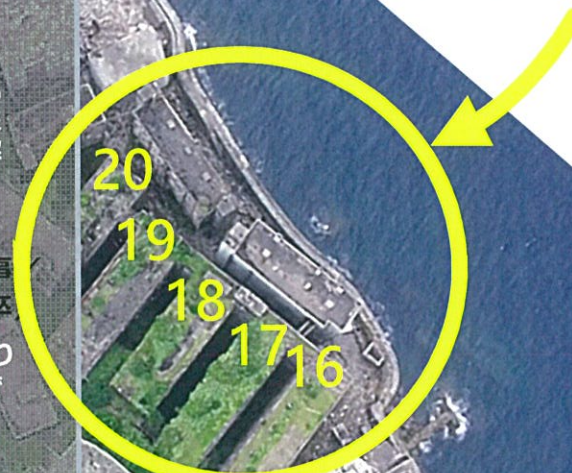
【講師】

濱本卓司（東京都市大学名誉教授）

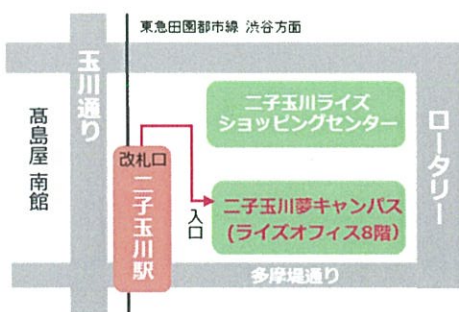
1974年の閉山以来無人島となった長崎県端島(軍艦島)。
その崩れゆく姿を視覚・聴覚・触覚を用いて、長期モニタ
リングを行っている。島内での生活経験のある中村陽一氏
による当時の島の様子を交え、軍艦島の過去・現在・未来
の姿を重ね合わせながら、親しみやすく、わかりやすく解
説する。

中村陽一（元NPO法人軍艦島を世界遺産にする会理事
本学工学部建築学科S38卒）

1938年札幌市生まれ。終戦後の1947年、一家で樺太より
引き揚げ軍艦島へ。父親が軍艦島の三菱鉱業(株)の鉱長で
あったため、中学一年までこの島で過ごす。
世界文化遺産に指定された、第2の故郷である貴重な建物
を含めた軍艦島の功績を、後世に語り継いでいる。



二子玉川 夢キャンパス



東京都世田谷区玉川2-21-1
二子玉川ライズ・オフィス8F
TEL 03-5797-9504

駅改札口を出て、すぐ右の建物です。
6階からは低層階用エレベーターで、
8階までお越しください。

会場：東京都市大学 二子玉川夢キャンパス (13:00開場)
対象：一般/本学教職員/本学学生/本学卒業生
定員：100名

【お申し込み】
校友会事務局へ 3月22日(木)までにお申し込みください。
e-mail: koyukai@tcu.ac.jp
TEL: 03-3703-3862
FAX: 03-3703-4595

【お問い合わせ先】
二子玉川夢キャンパス TEL 03-5797-9504
東京都市大学地域連携センター TEL 03-5707-0104